

第15回日本内分泌病理学会学術総会開催のお知らせ

第15回日本内分泌病理学会学術総会

会長 虎の門病院 内分泌センター、間脳下垂体外科

山田 正三

来る11月23日～25日(午前)に第15回日本内分泌病理学会学術総会を開催いたします。

今年度は初めての試みとして自治医科大学屋代隆オーガナイザーのもと11月23日(水)～11月26日(土)を内分泌学ウィーク2011と銘打って、日本比較内分泌学会、日本神経内分泌学会、日本内分泌病理学会の三学会が、リレー方式でそれぞれの学会を開催いたします。

場所は都道府県会館(東京都千代田区平河町 2-6-3)で、当学会の参加者は期間中何れの会にも参加可能として相互の交流と連携を図る企画を考えております。なお当学会の日程は11月23日(水祝)・24日(木)及び25日(金)午前(=三学会合同の公開国際シンポジウム)となっています。

また本15回総会では“臨床医に必要な内分泌病理学の基礎：下垂体から副腎まで”と題して臨床内分泌科医のための教育セミナーを学会期間中(23日午前)に開催したいと考えております。また総会では一般演題の他、臨床と密接に関連した内分泌病理のテーマを中心としたシンポジウム、病理診断に苦慮した症例、英語での発表のセッションなどを企画し、現在演題募集中であります(演題募集をご参照ください)。更に25日午前には、内分泌学ウィークの目玉である三学会合同の公開国際シンポジウム「内分泌器官と幹細胞—組織発生と腫瘍発生—」をテーマに、下記5名の幹細胞、腫瘍形成の分野の第一級の研究者を招聘する予定ですので、この機会に出来るだけ多くの内分泌、内分泌病理の先生方のご参加を賜りますよう心より願っております。

- 1) Dr. Minoru Tanaka: Associate Professor of Laboratory Molecular Genetics and Reproduction, National Institute of Basic Biology, Japan
- 2) Dr. Hugo Vankelecom: Professor of Laboratory of Tissue Plasticity, Leuven University, Belgium
- 3) Dr. Shihoko Kimura: Head of Endocrinology Section and Senior Investigator of National Institute of Health, USA
- 4) Dr. Rajesh V. Thakker: May Professor of Medicine, University of Oxford, UK
- 5) Dr. Sylvia L. Asa: Professor of Department of Laboratory Medicine and Pathobiology, University of Toronto, Canada

(注: 公開国際シンポジウムは、自治医大文科省採択事業のプログラムとして行われます。)

参加費事前登録のお知らせ

参加費： 一般会員 6,000円（10月9日以降は7,000円）

学生会員 3,000円（10月9日以降は4,000円）

非会員 一般 7,000円、 学生 4,000円

締切： 2011年9月30日(金)10月8日(土)まで締切を延長します。

合同懇親会： 11月24日(木)(19:00より 赤坂ジュビア)

会費一般 6,000円、学生 4,000円

懇親会への参加費は原則事前参加登録時にご一緒をお願い致します。

事前登録は、下記口座に各自でお振込をお願い申し上げます(手数料は各自のご負担でお願い致します)。

口座名 お振込み先

口座番号： 三菱東京UFJ銀行 虎ノ門支店(店番 041)

普通預金： 0138940

口座名義： 第15回日本内分泌病理学会学術総会会長 山田 正三

同時にメールにてご所属、ご氏名、事前登録済（懇親会出欠の有無）を記載し下記メール宛お送りください。

jeps2011@toranomom.gr.jp

お問い合わせ先

虎の門病院 間脳下垂体外科

第15回日本内分泌病理学会運営事務局 担当・設楽綾子

TEL：03-3588-1111 FAX：03-3582-7068

E-Mail：syamada@toranomom.gr.jp

多くの皆様のご参加を心からお待ち申し上げます。